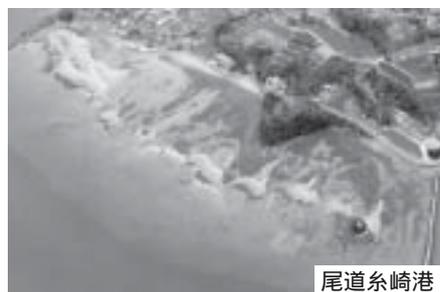


4 港湾のグリーン化 『環境』

良好な環境の積極的な保全・再生・創出

「新・生物多様性国家戦略」や「自然再生推進法」等を踏まえ、港湾空間における水環境の改善、自然環境の再生・創出を図る。(堺泉北港、広島港等)

- ・港湾整備により発生する浚渫土砂等を活用した干潟・海浜等の保全・再生・創出
- ・汚泥浚渫・覆砂による底質改善、環境整備船等による浮遊ゴミ・油の回収
- ・青潮等の原因とされる深掘跡の埋め戻し等を効率的に実施するための、浚渫土砂等の需給調整・品質調整システム構築に関する調査



尾道系崎港

港湾整備により発生する良質の土砂を有効利用し人工干潟を造成することで、良好な環境を創出

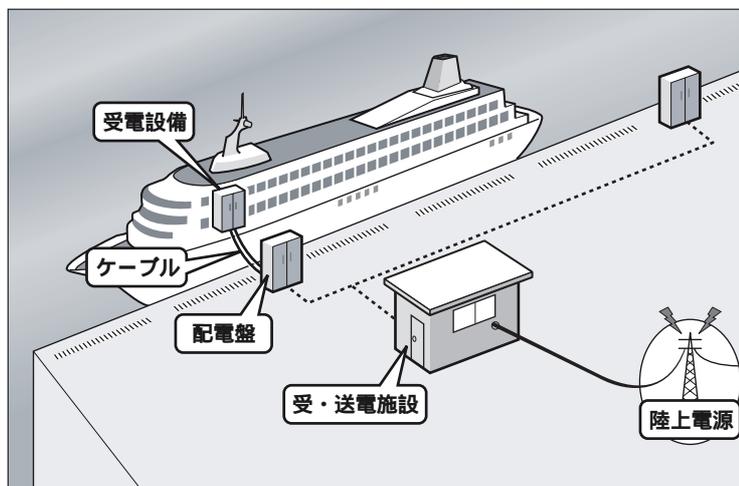
指標：失われた湿地や干潟のうち、回復可能な湿地や干潟の中で再生したものの割合【約2割(H14) 約2割(H16) 約3割(H19)】

指標：湾内青潮等発生期間の短縮【(H14) H14比約5%増(H15) H14比約5%減(H19)】

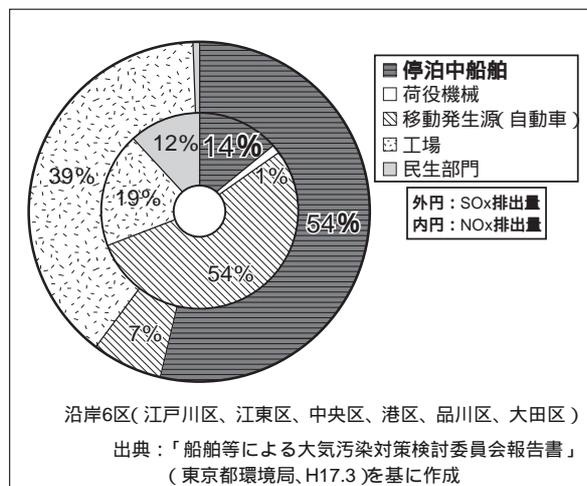
当指標は気象・海象等にも影響される。

港湾地域における排出ガス対策の推進

港湾地域における大気汚染対策及び地球温暖化対策として、接岸中の船舶が必要とする電力を陸上から供給し、機関を停止させることを目的とした、陸上側施設の検討に関する社会実験を行う。(行政経費Ⅰ国費：0.2億円)



【陸上電力供給施設のイメージ】



【東京港内と沿岸6区における大気汚染物質の排出量推計結果割合】

廃棄物の適正処理に対応した海面処分場の確保 ~ 都市環境問題への対応 ~

大都市圏を中心に、内陸部での廃棄物の最終処分場確保はますます困難となっている。廃棄物の適正処理のため、埋立処分により造成された土地の利活用を考慮しつつ、海面処分場の整備を推進する。(川崎港等)

- ・地方自治体や事業主が個々に処分場を確保することが困難である大阪湾域において、広域処理場の整備を推進する (大阪湾フェニックス)
- ・首都圏の建設発生土の有効利用を図るため、全国の港湾等に海上輸送することにより、その活用を推進する (スーパーフェニックス)

指標：可能な限り減量化した上で海面処分場でも受入が必要な廃棄物の受入【100%(H14) 100%(暫定値)(H16) 100%(H17以降毎年)】

循環型社会の形成 ~ リサイクルポートプロジェクトの推進 ~ (17頁参照)